

かながわの風

40
August
2023

<http://www.kacsw.or.jp>



会員番号(No.48447): 上山 由美子氏 撮影

コロナ禍臨時特集 第10回

社会福祉士とわたしp.6

- 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(大分大会) p.2
- 公益社団法人神奈川県社会福祉士会代議員総会報告 p.3
- 「シームレス」を担うその日まで 私たちの挑戦は続く p.4-5
- 2022(令和4)年度-2023(令和5)年度 理事会報告 p.7
- 公開講座・研修情報 p.8



第31回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(大分大会)の分科会「権利擁護/生活構造/福祉経営」にて、「新型コロナウイルス感染症後遺症とソーシャルワーク ―地域、社会、経過と支援をつなぐ―」と題した発表をしました。

新型コロナウイルス感染症患者またその後遺症患者は、感染症法上の位置づけが5月に5類に移行してからも地域に存在しています。生活環境に大きな影響を受け、生活課題が発生している場合もあります。後遺症患者へのソーシャルワークは何ができるのか、今後の地域・関係機関の支援の必要性を明らかにすることを目的に研究し、以下の内容を結果、結論として報告しました。



結 果

- ・医療機関での後遺症患者への支援ニーズがあることが示唆される一方、後遺症状がありながら受診できず、相談もできない状況の後遺症患者が実際には多くいることが推測される。
- ・後遺症状により休職の長期化や退職を余儀なくされるといった就労および経済面への影響がある際は、生活課題のアセスメントと社会保障・社会資源の適切な情報提供、個別の生活設計の支援が必要になる。
- ・後遺症患者には「治療と仕事の両立支援」が求められ、ソーシャルワーカーはコーディネーター機能を発揮する必要がある。
- ・後遺症患者の課題は医療機関だけでは対応できず、地域での総合的な相談体制、様々な機関のソーシャルワーカーの連携した対応が求められる。
- ・ソーシャルワーカーには関係機関へ後遺症患者に関する理解が得られるような情報発信・働きかけとネットワークの構築が求められる。

結 論

支援実践においては格差社会、貧困、社会的孤立、超高齢社会といった社会背景が影響し、課題が重複化・複雑化・深刻化している。非正規雇用、ひとり世帯、8050問題を含めた介護課題(介護者が感染する)、障害者、他(多)疾患患者、医療通訳の必要な外国人など複合的な支援が実際に行われた。生活環境が脆弱な状況で後遺症患者となり、さらに生活が困窮し、支援を要する現状があり、後遺症に対する支援だけではないソーシャルワーカーの総合的な介入、また社会への働きかけを要する。そのためには対応できる専門職の育成や、体制整備が必要になり、様々な関係機関と情報を共有しながら、支援の必要性を人・組織・地域・社会が把握していくことが求められる。

SWは生活支援の専門家であり、生活構造に働きかけることができる。後遺症患者への支援はまさにその専門性、能力が求められ、積極的な介入が継続して必要である。

報告後に会場からは、「具体的な制度活用状況」、「他疾患と比べた際のコロナ後遺症の特徴」、「感染症法上の5類になってからの変化」などについて多数の質問があり、今回のテーマについての関心の高さを感じました。

公益社団法人の意義や運営方法をご紹介します

神奈川県社会福祉士会代議員総会が6月25日(日)に開催され、理事と代議員が集結し、本年度の事業計画と予算に加え、公益社団法人化10周年のイベントについて確認をしました。

本会は、公益社団法人として、「県内における社会福祉の推進や県民の生活の向上に寄与すること」を基本とし、①権利擁護及び相談事業、②地域福祉の増進・福祉サービスの質の向上に関する事業、③福祉人材育成事業、④組織整備・強化に関する事業を重点事業・4本の柱としています。

理事の紹介

理事は、理事会を構成し、定款に定めるところにより、本会の業務の執行の決定に参画します。(定款、役員名簿、事業計画、収支予算書等は、ホームページの「社会福祉士会について」の「情報公開」で誰もがご覧頂くことができます)

本年度の理事は、下記の通りです。

会 長：隅河内司(写真最前列)

副会長：田中晃、金井直子、山崎智美(写真最前列)

理 事：谷川謙、露木敏夫、和田貴子、岡本早織、深澤亮、横山昂、小林麻衣子、小島操子、佐々木千賀子、菅原聡、菅野善也、徳田千春、松下圭一、吉田勝利(写真2列目以降)

監 事：東海林崇、本多洋実

相談役：山下康



*当日、出席したメンバーのみで写真撮影しました。撮影時のみマスクを外しております。

代議員の紹介

代議員は、正会員の意向を本会の運営に反映することを目的とし、代議員総会に出席して審議及び議決を行うとともに、(1)本会の活動及び支部活動等に参加し、(2)代議員総会の内容等を正会員に伝達し、(3)正会員の意向の反映及び審議された内容及び議決された事項の伝達のために必要とされる活動を行う役割を担います。

代議員は、全62名おり、その名簿は、ホームページの「会員のページ」(要パスワード)にある代議員総会議案集でご覧頂くことができます。

是非、本会として「県内における社会福祉の推進や県民の生活の向上に寄与すること」を実践するために、必要な研修会等の具体案を理事や代議員にお伝え下さい。或いは、各支部や各委員会に参加し、共に実践して参りましょう。

「シームレス」を担うその日まで

社会福祉士は、幅広い対象層の個別支援を担う他、地域連携や社会資源の開発等幅広い知識と技術力をもつ専門職
神奈川県社会福祉士会では、8つの支部に分かれ、毎年年度始めに会員が集う全体会を開催していますが、県民の皆
そこで今回は、横浜支部、湘南東支部、湘南西支部に全体会の報告をします。

● 横浜支部全体会&講演会 2023年5月28日(日)

～これからの権利擁護と社会福祉士への期待～

東洋大学 高山直樹先生・障害当事者・サンフラワーの会 奈良崎真弓さん

「権利擁護」について、障害当事者の奈良崎さんから、ご自身の紹介を兼ねながら、「権利っていわれてもよくわからない。どう説明しますか?」「権利だけでなく義務もあるよね。義務ってなに?」等の質問を参加者に投げかけ、回答してもらうという形式で、笑いあいの進行が和やかに行われました。もちろん、笑いだけではなく、当事者にとって「よかれ」と選ぶことはせずに、当事者自らが選ぶことのできる環境を整えていくことが必要ではないか?とのお話も伺いました。

また、高山先生からは、日本の教育制度からの視点として、障害の有無に関わらず、小さい頃からの「自分で決める」ということの不足さが指摘され、職能団体の一員として担うソーシャルワークは社会を変えていく力を備えているのであるから、「しかたがない」で済ませてはならず、「そこが出発点になる!」等、社会福祉士としての在り方への警鐘をいただきました。

文責:横浜支部 幹事 小島貴美子



● 湘南東支部全体会&記念講演会 2023年5月14日(日)

To be, not to do(そこにいるということ)～相談支援の落とし穴

湘南東支部では、「2023年度湘南東支部全体会・記念講演会」を藤沢市社会福祉協議会地域福祉プラザ会議室とオンラインによるハイブリッドで開催しました。記念講演会では、「川崎こころのケアセンター」センター長で公認心理士・臨床心理士の稲富正治氏を迎え、「To be, not to do(そこにいるということ)～相談支援の落とし穴」というテーマの講演を全員で聴講。豊富な相談支援の経験をもとにした稲富氏の実践は、日々相談支援に携わる参加者に多くの振り返りとヒントを与えてくれるものとなりました。



私たちの挑戦は続く

各支部の全体会報告

です。4月号では、川崎支部研修報告の中で、幅広い対象層の相談支援を担うために必要な視点をご紹介します。様と共に学ぶ県民講座を同時開催することが多いです。

講演の中で稲富氏は次のように強調しました。

「(相談者が)問題に気づき、回復・成長するには本人自身のタイミングやスピードがある」ことを踏まえ、「早く気付かせようとする、ただただ本人の心を乱してしまう」「私たちができることは、あたたかい目で見守る、ことであり、To be, not to do, 何をしてあげたかが大事なのではなく、ただそこに一緒にいることが大切だ」と。

文責:湘南東支部 幹事 倉西 隆男



● 湘南西支部全体会&基調講演会 2023年6月4日(日)

共生社会とは・・・地域で暮らす事の意味

湘南西支部では、支部の研究テーマを「共生社会とは・・・地域で暮らす事の意味」に置き活動を行っています。2022年5月の支部全体会では、社会福祉士による「ソーシャルワーカーの未来」をテーマに地域でケアマネジャー、ソーシャルワーカーとして活躍している社会福祉士を講師に招き講演会を開催し、その第1歩としました。2022年7月「地域包括ケアと介護保険」、2023年1月の一般市民向け講座「日々の育児で大切な事」・・・子供が成長していく中で、親だけでなく、子どもに関わる時の関わり方について学びました。

2年目となる2023年度は、6月4日に全体会&基調講演「発達障害者支援、施策から考える発達障害児者の現状と課題」～地域共生社会を目指す支援とは～を国立障害者リハビリテーションセンターの泉浩平氏を講師にお招きし、発達障害児者を支える制度と障がい理解をテーマとした講演会を開催し多くのご参加をいただきました。9月には障害者についてのフォーラムを予定しています。

共生社会の実現を目指すと言う事は、「環境のバリアフリー」と「こころのバリアフリー」が必要です。私達が共生社会の一員となる為には、自分とは違う性別、年齢、体型、体や心の特性、考え方を一人一人が認め、お互いを分かり合うために話をしたり支え合ったりすることだと思えます。そして、多種多様な人々を理解するために自己研鑽が必要だと感じています。

文責:湘南西支部 支部長 和田 貴子



今後も公益社団法人として、県内の社会福祉増進と県民の生活向上に寄与する県民講座を企画運営して参ります。

社会福祉士とわたし



川崎支部 藤田 杏さん

私が社会福祉士になるという目標を立てたのは、中学2年生の14歳の時でした。あっという間に10年以上が経ち、今はこの仕事の奥深さとやりがいを感じながら、多面的な視点を持つ難しさに頭を抱える毎日を送っています。元々は、発達障害を抱え療育を受けていた身内がいたことをきっかけに、特別支援学級の先生になる夢を追いかけていたのですが、当事者家族として「たくさんの人に適切な情報を知って欲しい」という思いと、一人の人間として「もっと広くたくさんの方の生活に触れたい」という思いから、障害の分野に限らず「どうしたら一人一人が居心地よく過ごせるか」を考える仕事をしたいと漠然と思っていました。そのため、当時の私にとって社会福祉士という資格は、ぼんやりとした夢を形にしてくれる非常に魅力的なものに見えたのです。

新卒で選んだ職場は地域に密着した医療法人で、在宅医療ソーシャルワーカーを務めました。この分野を選択した理由は3つあり、一つはまずは年齢を問わず多くの方と関わる仕事をしたかったこと、次に医療の知識を身につけたかったこと、最後に近い距離での家族支援を学びたかったことが挙げられます。実際には高齢、障害、児童、多文化…等、分野を問わない学びや発見が多くあり、目まぐるしくはありましたが、非常に貴重な経験となりました。今の職場においても、医療的なケアが必要な子どもに関わる際等に知識を活かすことができています。

現在は、療育センターでソーシャルワーカーをしています。元々追いかけていた夢も併せて叶えられたのではないかという思いもあり、気合とやりがいは十分なのですが、それだけではどうにもならない難しさに打ちのめされた際には、県士会や実践ソーシャルワーク塾の先輩方に支えていただいています。そして、家族支援とは何か？子どもの権利とは何か？障害とは何か？を日々自身に問いながら、一つとして同じケースはないことを胸に刻んで実践に臨んでいます。

仕事以外では、川崎支部の幹事に推薦していただき、広報委員会にも所属しつつ、県士会を盛り上げるお手伝いをしています。個人的には20～30代の組織率を向上させ、若者特有の悩みや迷いも含め、困った時に安心して立ち返ることができる社会福祉士の居場所作りをしていきたいという思いがあります。また、自身の東日本大震災の被災者としての経験を活かすべく神奈川DWATの登録や、地域活動として見守りネットワークを創る会のお手伝いもしています。

最後に、相談者の思いやその状況に寄り添いながら、それらの人々の立場に立った支援の在り方を尽きることなく探求し続け「どうしたら一人一人が居心地よく過ごせるか」にこだわる社会福祉士であり続けるために、今後も自己研鑽と自己覚知を怠らずに励んでいきたいと思えます。

プロフィール

1995年生まれ。宮城県塩竈市出身。保有国家資格は社会福祉士、保育士。

- 2018年3月 宮城学院女子大学 学芸学部 発達臨床学科卒業
- 2018年4月 医療法人メディカルクラスたまふれあいグループへ入職
- 2021年4月 神奈川県社会福祉士会川崎支部幹事
実践ソーシャルワーク塾16期生
- 2021年6月 神奈川DWAT登録
- 10月 0～100歳のための見守りネットワークを創る会
- 2022年10月 川崎市北部地域療育センターへ入職

ほか、介護の英語チームへの動画撮影参加等。

〈2022(令和4)年度 理事会報告〉



■臨時理事会 2023年3月7日(火) 19:30~21:00 [オンライン会議]

議長：隅河内会長 議事録署名：出席全理事監事 出席：理事15名 監事：東海林崇・本多洋実 事務局：2名

審議事項〈議事全承認〉 議案1：入退会審査(2月分)…入退会審査→2月入会2、転入0、転出3、退会4、2月末会員数3,163、県内登録者数19,854、組織率15.93%。キャンペーン(30歳以下入会金免除)対象者2。 議案2：会費未納者の退会の取扱い…提案通り5名に関し3月末日時点支払いがなければ会員資格喪失とすることで承認。 議案3：ばあとなあ神奈川後見人等候補者推薦、法人後見状況…名簿登録に係る異動状況は3月1日登録者数 651名、内、家裁名簿登載者552名、新規登録0名、抹消13。法人後見15件である。 議案4：ばあとなあ神奈川2023年度地区コーディネーターの追加の委嘱 議案5：2023年度本会事業計画案 議案6：2023年度予本会算案 議案7：2023年度資金調達及び設備投資の見込み 議案8：要綱「会員による業務上横領事件検証」特別委員会設置に関する要綱 改正案

■臨時理事会 2023年3月30日(木) 19:30~20:15 [オンライン会議]

議長：隅河内会長 議事録署名：出席全理事監事 出席：理事14名 監事：東海林崇・本多洋実 事務局：2名

審議事項〈議事全承認〉 議案1：ばあとなあ神奈川名簿登録審査…新規登録53、更新申請599、抹消申請8名提案。未提出者取扱等の条件を検討。 議案2：規則改正・要綱制定案…費用弁済規則及びばあとなあ神奈川成年後見相談員謝金の要綱・法人後見預かり金管理要綱及び法人後見預り金管理事務取扱の手引き。

〈2023(令和5)年度 理事会報告〉

※2023年度は集合会議とオンライン会議を併用して開催

■通常理事会 2023年4月22日(土) 10:30~12:00 [神奈川県社会福祉センター402]

議長：隅河内会長 議事録署名：出席全理事監事 出席：理事13名 監事：本多洋実 事務局：2名

審議事項〈議事全承認〉 議案1：入退会審査(3月分)…入退会審査→3月入会1、転入3、転出10、退会123、3月末会員数3,034、県内登録者数19,009、組織率15.96%。キャンペーン(30歳以下入会金免除)対象者0。 議案2：ばあとなあ神奈川後見人等候補者推薦、法人後見状況…新規登録56名。更新登録630名。抹消申請15名。候補者推薦445件推薦依頼、342件推薦済。推薦のあり方の検討必要。法人後見15件。 議案3：2023年度受託事業契約…神奈川県生活困窮者自立支援制度都道府県研修事業委託ほかの契約を承認。 議案4：2023年度支部活動費の交付 議案5：2023年度・2024年度の支部幹事の委嘱…湘南東支部、湘南西支部幹事。

■臨時理事会 2023年5月16日(火) 19:30~20:50 [オンライン会議]

議長：隅河内会長 議事録署名：出席全理事監事 出席：理事14名 監事：東海林崇・本多洋実 事務局：2名

審議事項〈議事全承認〉 議案1：入退会審査(4月分)…入退会審査→4月入会54、転入2、転出3、退会17、4月末会員数3,070、県内登録者数19,853、組織率15.46%。キャンペーン(30歳以下入会金免除)対象者5。 議案2：ばあとなあ神奈川後見人等候補者推薦、法人後見状況…新規登録2名、抹消申請2名、登録者数686名内家裁名簿登載者595名。4月33件依頼。累計調整中件数59件。家裁名簿登載者審査中。法人後見15件。 議案3：2023年度・2024年度の支部幹事の委嘱…川崎支部支部幹事の委嘱。 議案4：2023年度受託事業契約：神奈川県地域生活定着支援センター事業委託の承認 議案5：規則改正案…規則57号事務経費の負担及び納入に関する規則。

■通常理事会 2023年6月6日(火) 19:30~21:00 [オンライン会議]

議長：隅河内会長 議事録署名：出席全理事監事 出席：理事16名 監事：東海林崇 事務局：2名

審議事項〈議事全承認〉 議案1：入退会審査(5月分)…入退会審査→5月入会52、転入5、転出3、退会2、5月末会員数3,122、県内登録者数20,945、組織率14.91%。キャンペーン(30歳以下入会金免除)対象者6。 議案2：ばあとなあ神奈川後見人等候補者推薦、法人後見状況、名簿登載…新規登録1、抹消申請0、登録者数686名、内家裁名簿登載者595名。候補者推薦37件依頼。名簿登載拒否120、結果名簿登載564。法人後見15。 議案3：2022年度本会事業報告(案) 議案4：2022年度本会決算報告(案) 議案5：代議員総会(開催通知内容・議事) 議案6：2023年度相模原市ホームレス等一時生活支援事業委託契約

公開講座 & 研修会

お申込み・お問合せは 電話：045-317-2045
FAX：045-317-2046 e-mail：web@kacsw.or.jp
公益社団法人神奈川県社会福祉士会 事務局 までお願いします。

月	日	開始時間	終了時間	研修名	概要	場所	主催	対象	費用
10	7	11:00	14:00	第14回 寒川町ふれあい 福祉フェスティバル (雨天決行)	展示、フードドライブ、 なんでも相談会など	シンコースポーツ 寒川アリーナ (寒川総合体育館) メインアリーナ	湘南東支部 (出展)	地域一般	無料
10	8	9:30	11:30	神奈川県 社会福祉士会 公益社団法人化 10周年記念事業	障害のある人に寄り添う 意思決定支援とは ～就労支援の現場から～	横浜市 健康福祉総合 センター	横浜支部	テーマに 関心のある方	無料
1	20	9:50	16:30	福祉従事者のための 「成年後見活用講座」	成年後見制度の概要 成年後見人の職務 任意後見制度と相続	オンライン	ばあとなあ 神奈川	福祉従事者 の方	6,110円 (税込み)
1	21				成年後見制度利用に関する 相談の実務に関する演習				

開催を予定しております研修・公開講座等は、新型コロナウイルスの感染状況により、やむなく開催を中止、あるいは延期する場合がございます。ご迷惑をおかけ致しますが、何卒ご理解頂きますようお願い申し上げます。
なお、最新の状況につきましては本会のホームページをご確認ください。

<http://www.kacsw.or.jp/publics/index/234/>

神奈川県社会福祉士会 研修 講座

検索



表紙写真大募集!!

あなたの写真で「かながわの風」の表紙を飾りませんか？

広報委員会では「かながわの風」の表紙を飾る写真を募集しています。

- テーマ** 神奈川の風景
- カメラ** デジタルカメラで、一眼レフやコンパクトカメラ、スマートフォンなど機種は問いません。
- 画素数** 3024×4032ピクセル以上
- 送信先** koho@kacsw.or.jp

《ご注意》

- 写真のファイルサイズが大きい場合は、クラウドストレージなどをご利用ください。送信方法が不明な場合は、左記メールアドレスまでご相談ください。
- 人物を被写体にしないでください。人物が個人を特定できるサイズで写っている場合は、同意を得た場合でも採用しない場合があります。
- 採用する場合は、掲載写真発行前にメールにてご連絡を差し上げます。不採用の場合はご連絡を差し上げませんので、ご容赦ください。

BEST SHOTをお待ちしています!

編集委員も同時募集中!

本会会員の皆様の中で、広報制作に興味・関心がお有りの方は、事務局までお知らせください。是非、新しい「風」づくりに参加をお願い致します。なお、広報委員会は原則として奇数月の最終週の火曜日、19:00～21:00に開催しております。

(広報委員長：日向 明)

編集後記

想いを乗せて吹く風がある・・・

猛暑の中、今年もまた球児たちが甲子園を目指して各県大会で躍動を続ける。母校の誇りを胸に、仲間を信じ、そして自分自身への限界に挑戦する姿に、浮世のわが身を重ねるファンも多だろう。

地方紙、熊本日日新聞が勝負を超えた清々しい光景を伝えている。県営球場で行われた2回戦、翔陽高校と八代高校が雨による前日の継続試合を経て、30℃越えの蒸し暑さの中熱戦を繰り広げていたが、9回の表に3点を追う攻撃中の翔陽の投手がマウンド上で脚がついている対戦相手の八代の投手へ経口補水液を届けている写真が掲載されている。ペットボトルを手にし、対戦相手の投手がいるマウンドに走った翔陽の投手は直前に交代してベンチに下がっていたが「同じ、投手。絶対にマウンドを降りたくない気持ちはわかる。正々堂々と勝負したかった」と。

試合結果は、5-6で翔陽が1点差で大会を終えた。試合後の整列で翔

陽の主将は八代ナインに「絶対に勝てよ」とエールを送り、グータッチを交わしたとある。勝負に勝った八代の監督は「試合には勝ったが、翔陽さんの行動には負けた。素晴らしい人間性のあるチームだった」とスポーツマンシップに賛辞を贈ったと記事は伝えている。

県予選はトーナメント形式の一発勝負であり、球児誰もが憧れる甲子園を目指す場において、対戦相手のチームに対する配慮は、時に「非情な勝負の場」においてはそぐわなかったかもしれない、しかし一人の人間として正しかったかどうか、そこに答えがあるのだろう。選手たちは勝敗よりもかけがえない物を手にした瞬間となった。酷暑の中、一陣の風のようなニュースに胸を熱くさせられた。少しだけ、この夏が好きになれそうな気がする・・・。

(広報委員長：日向 明)

発行：2023年8月 発行責任者：会長 隅河内 司 編集：公益社団法人神奈川県社会福祉士会広報委員会 印刷：株式会社ガリバー
問合せ先：公益社団法人神奈川県社会福祉士会 〒221-0825 横浜市神奈川区反町3-17-2 神奈川県社会福祉センター4F

植物油インキ使用